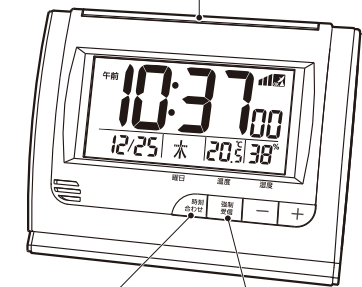


電池は付属しておりません。単3形マンガン乾電池を2個ご用意ください。

1 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

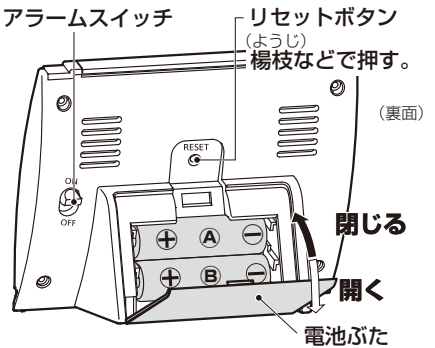
◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

スヌーズ/ライトボタン兼用



時刻合わせボタン 強制受信ボタン
時刻を手動で合わせる

液晶の特性として、見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。この時計は、正面およびやや上方から見たときに見やすくなります。



電池を入れる 単3形マンガン乾電池 2個
電池を入れるときはA/Bの順。取り出すときはB/Aの順。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



〈受信開始〉



受信マーク
(受信中点滅)

※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2010年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

〈受信終了〉

最長21分後



受信成功
受信マークが点灯

受信マークは受信成功後、24~25時間点灯
(受信に成功したときの表示例)

受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ … 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年月日、時刻(時・分)でのボタン操作

点滅している数値を+または-ボタンで合わせてから時刻合わせボタンを押すと数値を確定して次のステップに進みます。

操作	押してすぐ離す	押し続ける
+	1つ進む	早送り
-	1つ戻る	早戻し



- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- 1 電池ふたを開ける
- 2 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れると「ピー」と鳴ります
△注意 電池を逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。
※短い時間に電池の出し入れをすると音が鳴らないことがあります。
- 3 電池ふたを閉める
- 4 リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します
◎ 受信中はボタンに触れないでください。
- 5 受信結果を確認する
受信は、最長で約21分行きます。
受信マークで受信結果を確認してください。
▶【受信の流れと表示】参照

※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に+または-ボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない …… → 受信しやすい



チェック!
1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

受信マーク消灯
失敗!

※受信に失敗した場合は、時刻や日付は正しくありません。



2 アラーム機能を使う

アラーム時刻の設定

- ①アラームスイッチをOFFにする
- ②+または-ボタンを押してすぐ離す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
- ③+または-ボタンでアラーム時刻を合わせる
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

操作	押してすぐ離す	押し続ける
+	1分進む	早送り
-	1分戻る	早戻し



午前/午後の表示に注意。
表示されていない場合は24時間表示です。

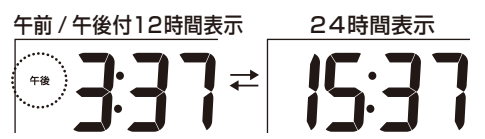
アラームのON/OFF 設定

- ON : 設定時刻にアラームが鳴る。
アラーム時刻とアラームマーク表示
- OFF : アラームを止める、鳴らさない。
温度を表示



時刻表示の切り替え

時刻合わせボタンを押してすぐに離すと12時間表示と24時間表示を切り替えることができます。



次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。

- 電波の受信中
 - アラーム状態
 - アラーム時刻、日時の設定中。
- *アラーム状態とは、アラームが鳴っているまたはスヌーズ機能を使用している状態。

温度・湿度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度を反映するまでには時間がかかります。
 - 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
 - 測定する高さによっても、温湿度に違いが出ることがあります。
- ※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」	50℃より高温	「LLL」	-9.9℃より低温
湿度「HH」	95%より多湿	「LL」	20%未満

「--」測定不可
*湿度は温度が5~50℃のときに測定可能

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなった、表示が欠ける、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
 - 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
 - 動いていても1年に1回定期的に交換する。
 - 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- ※電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用することをお勧めいたします。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能 OFF (日時を標準電波で修正しない)

- リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。
- 「ピー」と鳴ってから押してください。
- OFFになると「ピー」と鳴りません。
- 日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)

- ボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。
- 標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

※電池を取り出して、回路内に電荷が無くなると受信機能はONになります。

強制受信とリセット

強制受信

場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

次のようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手動でアラーム時刻または日時を設定中
- 受信機能がOFFになっているとき

リセット

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときにリセットボタンを押します。

リセット直後は、2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。

受信機能がONのときは、受信を開始します。